

名古屋アメリカ研究夏期セミナー 2007-2011

Nagoya American Studies Summer Seminars (NASSS 2007-2011)

NASSS 2009 テーマ 「アメリカニズムと社会的公正」 (Americanism and Social Justice)

5年間のテーマ

2007年 アメリカと宗教

2008年 多様な視線からのアメリカ研究－ジェンダーと比較研究

2009年 アメリカニズムと社会的公正

2010年 記憶の共有のために－歴史認識の差をどう埋めるか(予定)

2011年 グローバル化とアメリカ研究の行方(予定)

2007年から2011年までの5年間、毎年テーマを決めてアメリカ研究のセミナー(NASSS)を南山大学で開催します。各テーマの専門家である海外招聘研究者による基調講演を中心に、「歴史・社会」、「政治・国際関係」、「文学・文化」の3部門に分かれてディスカッションを行う「専門家会議」、国内外の大学院生を対象とした「国際大学院生セミナー」が2つの柱となっています。また、NASSSは、研究者相互の交流とともに、中学・高校教員および一般市民のアメリカ理解の一助となることを目的としています。

【専門家会議】会場 南山大学名古屋キャンパス

7月25日(土)

<全体会>

① 基調講演(一般公開)

「歴史・社会」

Eric L. Muller (The University of North Carolina at Chapel Hill)

「政治・国際関係」

Marie Gottschalk (The University of Pennsylvania)

「文学・文化」

Werner Sollors (Harvard University)

② コメントおよび全体討論(一般公開)

コメンテーター

古欠句(東京大学)

荒このみ(東京外国語大学)

酒井啓子(東京外国語大学)

司会

紀平英作(京都大学)

③ 部門別会議(非公開)

<レセプション>

7月26日(日)

<部門別専門家会議>(非公開)

【国際大学院生セミナー】会場 南山学園研修センター

「国際大学院生セミナー」は、アメリカ研究セミナーにおける初の試みとしてNASSSが進める新企画です。その最大の目的は、アメリカの一流の研究者による指導のもと、アジア・太平洋地域において地域研究に従事する大学院生・若手研究者たちが、寝食をともにした交流をおこなうための場を提供することであり、過去2度(2007、2008)において、国際交流の促進と学問的な深化の両面で確かな成果を得ました。

本セミナーの参加者には、NASSS専門家会議(全体会および部門別会議)への出席、院生セミナー全体会における議論への積極的参加、そして、三部門に分かれた院生セミナー分科会での個別発表が求められます。また、国内外院生の交流を促進するために、エクスカージョンなどの活動も計画しています。

7月25日(土)

NASSS 専門家会議(全体会)

7月26日(日)

NASSS 専門家会議(部門別会議)

国際大学院生セミナー・オリエンテーション

ウェルカムレセプション

7月27日(月)

エクスカージョン

全体会

座談の夕べ

7月28日(火)

分科会「歴史・社会」、「政治・国際関係」、「文学・文化」

さよならパーティ